

## 22回：改革と外国船の接近

赤（なみ線）は重要

青（ぼう線）は難関

5代将軍①\_\_\_\_\_は、儒学の一派である②\_\_\_\_\_をすすめ、湯島

に学問所を設置しました。また、動物を保護する③\_\_\_\_\_を出しました。

8代将軍④\_\_\_\_\_の改革は、⑤\_\_\_\_\_とよばれています。

この改革では、武士に儉約をすすめたり、能力のある人材を登用したり

しました。他にも、法令を集めて⑥\_\_\_\_\_におさめたり、江戸

の人々の意見を聞くために⑦\_\_\_\_\_を設置したりしました。この将軍

は農民からの年貢を多く集めるようにしたため、三大ききんの影響もあり、

百姓の抗議行動である⑧\_\_\_\_\_が増加しました。都市部では、

米の買いしめをする大商人に対する⑨\_\_\_\_\_が起きました。

9・10代将軍のときには、老中⑩\_\_\_\_\_が商業を重視する改革を

行い、商工業者の同業者組織である⑪\_\_\_\_\_を奨励しました。

11代将軍徳川家斉が若いころ、老中⑫\_\_\_\_\_が改革を行いました。

この改革を⑬\_\_\_\_\_とよびます。この改革では、幕府の

学問所で朱子学以外を講義することを禁止しました（寛政異学の禁）。また、

生活に苦しむ旗本・御家人の借金を帳消しにする法律を出しました

（棄捐令）。その他、江戸に出かせぎにきていた百姓を村に帰そうとし

ました。



④



⑧

答え：①徳川綱吉 ②朱子学 ③生類憐れみの令 ④徳川吉宗 ⑤享保の改革 ⑥公事方御定書

⑦目安箱 ⑧百姓一揆 ⑨打ちこわし ⑩田沼意次 ⑪株仲間 ⑫松平定信 ⑬寛政の改革

1856年、差別を受けていた人々が①\_\_\_\_\_を起こしました。なお、百姓一揆に参加した人々が、円形に署名した誓約書を②\_\_\_\_\_といいます。1837年、天保のききんで苦しむ人々を見て、もと大阪町奉行の役人で陽明学者が③\_\_\_\_\_の乱を起こしました。この事件は、幕府に大きな衝撃をあたえました。

1841年～1843年、幕府の老中④\_\_\_\_\_は⑤\_\_\_\_\_の改革を行いました。この改革では文武を奨励して風俗をとりしめし、商工業者の同業者組合である⑥\_\_\_\_\_の解散を命じました。しかし、この政策は経済が混乱して失敗しました。水野忠邦は、その他人返し令で農民を農村に帰そうとしたり、上知令で江戸・大阪周辺の土地を幕府で直轄支配しようとして失敗してしまい、水野忠邦は老中をやめさせられました。

江戸時代のなかごろに織物業などでおこった生産のしくみで、問屋が資金・原料・道具を農民に貸して、農民が生産した製品を問屋が買い取るしくみを、⑦\_\_\_\_\_といいます。江戸時代の後半におこった生産のしくみで、問屋・地主が仕事場に労働者を集めて、分業で効率よく製品をつくるしくみを⑧\_\_\_\_\_といいます。江戸時代には、商売の取引が盛んになり、ものもの売りに貨幣が必要となる、⑨\_\_\_\_\_が発達しました。このため、売るための商品作物がさかんに栽培されるようになりました。

18世紀末以降、貿易や捕鯨船の補給地を求めて、ヨーロッパやアメリカの船が現れるようになりました。1825年、幕府は中国船とオランダ船以外は砲撃するようと、⑩\_\_\_\_\_を出しました。

答え：①<sup>しぼぞめいっき</sup> 渋染一揆 ②<sup>れんぼんじょう</sup> からかさ連判状 ③<sup>おおしおへいはちろう</sup> 大塩平八郎 ④<sup>みずのただくに</sup> 水野忠邦 ⑤<sup>てんぼう</sup> 天保 ⑥<sup>かぶなかま</sup> 株仲間 ⑦<sup>とんやせい</sup> 問屋制  
⑧<sup>かないこうぎょう</sup> 家内工業 ⑨<sup>こうじょうせいしゅこうぎょう</sup> 工場制手工業 (マニファクチュア) ⑩<sup>かへいけいざい</sup> 貨幣経済 ⑪<sup>いこくせんうちほられい</sup> 異国船打払令